



訪問ガイド 2026

陸軍博物館とナポレオンの墓

パリ・から 17€

<https://musee-armee.visit-tickets.com/ja> 優先入場チケットの料金

歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

二つの博物館の融合

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 14 508 レビュー

TIQETS **4.6** ★★★★★ 2 636 レビュー

国立イノヴァンシオン宮殿は、**1905年**に砲兵博物館と陸軍歴史博物館が統合されることで現在の形を成しました。この合併により、フランスの軍事コレクションが一貫した屋根の下に集約され、今日私たちが知る壮大な機関が誕生しました。この統合は単なる行政的な手続きではなく、国家の記憶を一つの物語として再編成する試みでした。

その起源はさらに遡り、フランス革命期の砲兵博物館設立にまでさかのぼります。これらの初期コレクションは、当時の政治的・社会的な激動を証言しており、革命期の兵器に関する魅力的な洞察を提供します。また、多くの品々はフランス王冠およびコンデ公家の王室コレクションから直接由来しており、国家的な制度的枠組みの中でその威信と歴史的価値を保持しています。

陸軍歴史博物館自体は、民間団体ラ・サブレタックによって1896年10月に大統領令に基づき設立されました。このイニシアチブは、19世紀末におけるフランス軍事史の保存への関心の高まりを示しています。創設者は、トロカデロ宮殿で開催された1889年の万国博覧会のリトロースペクティブホールに着想を得て、芸術と紛争の記憶を組み合わせる空間を作りたいと考えていました。

注目の帝国鎧の一つは、ピエールフォン城から移転され、博物館のコレクションに加われました。この特別な品物は宮廷鎧の洗練さを示しており、軍事史愛好家の注目を集めています。これらの品々は、インヴァリドゥスに移管され、国家的な制度的枠組みの中でその威信と歴史的価値を保持しています。

体験

入口をくぐると、まず圧倒されるのは建築の壮大さと光の質です。金色のドームの下で、自然光が大理石の床に反射し、静謐な雰囲気を醸し出しています。この光は、展示品の細部を際立たせると同時に、訪問者に一種の神聖さを感じさせます。

ナポレオンの墓室に入ると、時間の流れが変わったような感覚に襲われます。黒曜石の棺が中央に鎮座し、周囲の柱や彫刻がそれを囲んでいます。ここでは、単なる見学ではなく、歴史の重みを実感できる瞬間が訪れます。



訪問の準備

実用的な情報

住所 7区・メトロ：ラミュエット駅（9号線）またはイノヴァンシオン駅（8号線、13号線）、メイン出口から徒歩5分。	開館時間 開館時間は季節や祝日によって異なります。ご来場前に公式サイトで正確な時間帯を必ずご確認ください。
料金 入場料は17,00 €から。子ども向けの特別な条件は公式予約ページでご確認ください。	所要時間 2〜3時間のコレクションと墓室を含む完全な見学を予定してください。この時間なら、鎧や戦役ギャラリーを急ぐことなくゆっくり楽しめます。
写真撮影 博物館の展示室およびドーム下での写真撮影は通常許可されています。戦役ギャラリーの繊細なフレスコ画付近ではフラッシュを使用しないでください。オリジナル作品を保護するためです。	対象客層 ファミリーや歴史愛好家に最適です。武器や制服といった具体的な展示物は子どもたちの関心を引きつけ、大人は見学の歴史的深みを楽しめます。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

	メトロ / RER :サン＝ドミニク通り – 11 min à pied モンパルナス駅 (10 min)・パリ・オステルリッツ RER (16 min)
	バス :エスプラナード・デ・イノヴァリッド – 7 min à pied モンパルナス駅 (15 min)・パリ・オステルリッツ RER (25 min)
	車 モンパルナス駅 (9 min)・パリ・オステルリッツ RER (17 min)
	Vélib / 自転車 モンパルナス駅 (10 min)・パリ・オステルリッツ RER (22 min)

LOCALISATION

Où se trouve 陸軍博物館とナポレオンの墓？



129,Rue de Grenelle — 75007 パリ

 48°51.304' N, 2°18.752' E



組 織

館内の構成と動線

地上階（常設展示）

武器や制服といった具体的な展示物が並ぶ主要なフロアです。戦役ギャラリーの繊細なフレスコ画を観察し、フランスの軍事史について強力な視覚的コンテクストを得られます。各シーンは重要な出来事を語り、隣接する展示室で紹介されている紛争への理解を大幅に深めます。

ドーム階（墓室）

ナポレオンの墓がある象徴的な空間です。金色のドームの全高を含むよう、広角レンズの使用を検討してください。異なる角度から、その壮大な建築と墓への透視図を捉えることができます。ここは写真撮影に最適な自然光も提供します。

特別展エリア

季節やテーマに応じて変化する展示スペースです。オーディオガイドや特別展が含まれているか、追加料金が必要かを必ず確認し、現地での予想外の事態を防ぎましょう。予約時に利用可能なさまざまなプランを比較することで、ご自身の希望や予算に合ったオプションを選択できます。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

車椅子対応（PMR）の詳細は技術的な情報が静的ソースに記載されていないため、博物館に直接確認する必要があります。

ファミリー向け

具体的な展示物があるため家族連れに適していますが、長時間の展示室に必要な自立性や子供料金を確認してください。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選 択

必見の軍事遺産

01

ドーム

ナポレオンの墓

イノヴァンシオン・ドームの下に位置し、見学のハイライトの一つです。黒曜石の棺が中央に鎮座し、周囲の彫刻がそれを囲んでいます。ここでは、単なる見学ではなく、歴史の重みを実感できる瞬間が訪れます。

💡 1940年、ドイツ軍がパリに進駐した際、ナポレオンの遺骨は一時ドイツへ移送されましたが、後に返還されました。

02

鎧コレクション

ナポレオン3世の鎧

ピエールフォン城から移転され、博物館のコレクションに加われました。この特別な品物は宮廷鎧の洗練さを示しており、軍事史愛好家の注目を集めています。製造の詳細と刻まれた銘文を評価するために、注意深い観察が必要です。

💡 この鎧は、皇帝の個人的な所有物であり、宮廷儀式で使用されました。

03

戦役ギャラリー

戦役ギャラリー

フレスコ画を観察する時間を取ることで、フランスの軍事史について強力な視覚的コンテキストを得られます。各シーンは重要な出来事を語り、隣接する展示室で紹介されている紛争への理解を大幅に深めます。

💡 これらのフレスコ画は、第一次世界大戦後も更新され、最新の戦争の記憶を含んでいます。

04

砲兵の間

古代の大砲

保存状態の良い古い大砲が並び、非常に感銘を受けます。解説パネルをじっくり読むことをおすすめします。それが訪問を大きく豊かにしてくれます。

💡 一部の砲身は、1870年の普仏戦争で使用されたものです。

05

制服コレクション

歴史的軍服

歴史的な軍服は素晴らしく、本物感が伝わってきます。所有者のアイデンティティを語る鍛造技術と紋章学的シンボルに注目してください。

💡 これらの軍服は、フランス革命から現代に至るまでの変化を反映しています。

06

武器コレクション

王室の武器

フランス王冠およびコンデ公家のコレクションから直接由来する品々です。これらの王室の品々はインヴァリドゥスに移管され、国家的な制度的枠組みの中でその威信と歴史的価値を保持しています。

💡 これらの武器は、宮廷の権力と栄華を象徴しています。

07

大戦ギャラリー

第一次世界大戦の記念品

第一次世界大戦中に博物館は閉鎖されず、むしろ戦後、大戦の物品で大きく充実しました。プロイセン軍の旗などの戦利品が展示されています。

💡 これらの物品は、戦争の悲惨さと英雄主義を同時に伝えています。

08

全館

解説パネル

パネルは、展示品の起源とその歴史的役割を詳しく説明しており、コレクションの理解を大きく深めます。重要な各展示ケースの前で数分間立ち止まりましょう。

💡 これらのパネルは、専門家によって定期的に更新されています。

アドバイス

完璧な訪問のためのヒント

TIMING

混雑を避けるために早く到着する: ドームと主要な展示室は毎日多くの人を集めます。開館時に到着することで、行列に阻まれることなく、より良い状態でナポレオンの墓を見学できます。

PARCOURS

ドームから始める: ツアーの最初にナポレオンの墓を見学することで、一日の遅い時間に到着するグループに挟まれることを避けます。この戦略により、残りの訪問時間を使って、過度な時間的プレッシャーなしに自分のペースでコレクションを探検できます。

PAUSE

少人数グループで訪問する: 少人数グループなら、狭い展示室でのスムーズな移動と、より没入感のある体験が可能です。興味のある作品の前で長く滞在しても他の来館者に迷惑をかけず、自由に質問もできます。

AUDIOGUIDE

解説パネルを読む: パネルは、展示品の起源とその歴史的役割を詳しく説明しており、コレクションの理解を大きく深めます。重要な各展示ケースの前で数分間立ち止まりましょう。これらの情報は、単なる観察を真の歴史学習に変えてくれます。

BILLET

チケットプランを確認する: 利用可能なさまざまなプランを比較することで、ご自身の希望や予算に合ったオプションを選択できます。予約時にオーディオガイドや特別展が含まれているか、追加料金が必要かを必ず確認し、現地での予想外の事態を防ぎましょう。

PHOTO

ドームを撮影する: インヴァリドゥスのドームは、複数のアングルからの撮影に値する象徴的な場所です。異なる角度から、その壮大な建築と墓への透視図を捉えることができます。金色のドームの全高を含むよう、広角レンズの使用を検討してください。

ENFANTS

対象客層: ファミリーや歴史愛好家に最適です。武器や制服といった具体的な展示物は子どもたちの関心を引きつけ、大人は見学の歴史的深みを楽しめます。

CONFORT

間近で鎧を見る: 製造の詳細と刻まれた銘文を評価するために、鎧コレクションには注意深い観察が必要です。ショーケースに近づき、所有者のアイデンティティを語る鍛造技術と紋章学的シンボルに注目してください。



よくある質問

よくある質問

軍博物館のチケットには具体的に何が含まれますか？

通常、チケットは常設コレクションとナポレオンの墓があるドームへのアクセスが含まれます。オーディオガイドなどの追加オプションは、選択したプランに応じて含まれる場合と別料金の場合があります。購入確定前に予約ページで正確な内容を確認してください。

軍博物館の入場料はいくらですか？

基本料金は成人1名あたり17,00 €から始まります。訪問者の属性、特に若者やシニアに対しては、割引や特定の料金体系が適用される場合があります。現在の条件や有効なプロモーションについては、公式サイトをご参照ください。

行列を避けるために事前予約は必要ですか？

夏や週末などの混雑ピーク時には、オンライン予約が強く推奨されます。多くの場合、正確な時間帯を確保でき、窓口での待ち時間を短縮できます。非常に人気のあるこの場所での見学スケジュールを管理する最善の方法です。

予約のキャンセルや変更は簡単に行えますか？

キャンセル条件は使用したチケット販売プラットフォームと訪問日によって異なります。ほとんどのフレキシブルチケットは、予定時刻の24時間前まで無料で変更可能です。注文確認時に表示される利用規約をよくお読みください。

軍博物館の見学にはどれくらいの時間がかかりますか？

基室と主要な展示室を含む完全な見学には2〜3時間かかります。この時間は個人のペースや歴史的詳細への興味によって異なります。臨時展覧会を探索したり、ガイド付きツアーに参加したりする場合は、より長い時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

1940年の避難

1940年、ドイツ軍の進撃に対し、博物館のディレクターは最も貴重な品々をトラックに積み、地方へ避難させました。しかし、トラックは攻撃を受け、放棄されました。ドイツ軍がトラックを見つけ、ナポレオンの遺骨を含む物品をドイツへ送りました。

Vogelgreif砲

ドイツ軍は、世界で最も長い青銅製砲身である「Vogelgreif」を含む多数の物品をドイツへ送りました。この砲身はコブレンツに戻されましたが、第二次世界大戦中に溶融された可能性があります。

トロカデロの影響

博物館の創設は、トロカデロ宮殿で開催された1889年の万国博覧会のリトロスペクティブホールに着想を得ています。画家エドゥアール・ディテールは、芸術と紛争の記憶を組み合わせる軍事史に捧げられた同様の空間を作りたいと考えていました。

民間財団の役割

陸軍歴史博物館は、大統領令に基づき、民間団体ラ・サブレッタックによって1896年10月に設立されました。このイニシアチブは、19世紀末におけるフランス軍事史の保存への関心の高まりを示しています。

博物館周辺

博物館の周辺は、パリの象徴的なスポットが集まっています。エッフェル塔はシャン・ド・マルス経由で簡単に訪れられ、セーヌ川のユニークな視点を提供します。訪問後のリラックスやピクニックには、広大なエスプラナードであるシャン・ド・マルスが理想的です。また、ゴシック建築の名作であるサン＝ユストツシュ教会も近くにあります。食事は、エッフェル塔内にあるグルメレストラン「ル ジュール・ヴェルヌ」での絶景ランチがおすすめです。



この博物館を訪れることは、単なる観光ではなく、フランスの魂に触れる体験です。鎧の輝きやフレスコ画の色彩を通じて、過去の英雄たちの情熱や苦難が現代にまで伝わってきます。ぜひ、自分のペースでゆっくりと時間を過ごし、歴史の深みに浸ってください。